

地質ニュース

昭和54年8月

第300号

1979

特集

続 北上山地アラカルト

北上山地の古生層を訪ねて 田沢純 6
②横田の石炭系

北上外縁帯の地質
白亜紀(先古世)地殻変動の証を追って 杉本幹博 16

牡鹿・雄勝地方の褶曲
(その2)三疊紀層とペルム紀層の褶曲を巡って 滝沢文教
神戸信和 28

テクトノフィジックス センターの10年 小出 仁 46

海外事情

北東タイのカリ鉱床 沢田秀徳 50

中国地質用語 資料室 55
—鉱物名編③—

標本館に対する海外からの地質標本③ 神戸信和 58

地質調査所の移転スケジュール 移転推進室 62

地学と切手

人事異動 15

ノルウェー地質学者の切手 P. Q. 57

栗栖川 KURISUGAWA 鈴木博之
ほか8名 64

学会掲示板 27

口 絵

続 北上山地アラカルト 滝沢文教
杉本幹博

編集 地質調査所

表紙の写真

チリ北部の温泉

チリの北部は沙漠。イキケの海岸町から一気に標高1000mまで登ったところは、昔チリ硝石の産地として栄えたが、今日はゴースト・タウン。住民は気候が温暖で生活用水が得られる高地に住んでいる。1500mのピカ 2700mのマミーニャの集落は、温泉を利用して農業を営んでいる。

写真は、さらに高い標高4000mを超える高原 パンパ・リリーマにある温泉の一つ。3000m付近からは緑があり、ここにだけアンデスの万年雪を水源とする溪流がある。よく見ると、小魚が泳いでいる。この温泉の温度は40.3°Cであったが、この一帯に18ほどの湧出口があつて最高77°C。付近には、1家族が住んで、温泉を使用し、リヤマを放牧している。泉質は、ナトリウムと硫酸物の両イオンが目立って多い。なお、パンパ・リリーマの地形は、氷河地形のカーブと考えられる。低湿地で、堆積層の厚さは20~50m、帯水層20m以浅。掘ると自噴する。世界で最も高い位置にある被圧地下水の一つではなからうか。
(写真 文とも 村下敏夫)

発行 株式会社 実業公報社